

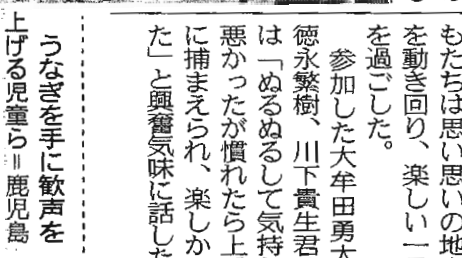
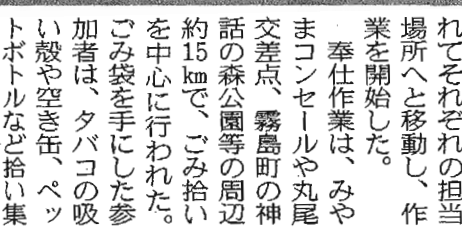
安全祈願祭では、刈り初めの儀を馬場英俊県教育次長、鍬初めの儀を下舞建築設計事務所の上妻建生社長、穿初めの儀を竹山建設(株)の竹山真一郎社長と(株)新生組の川井田健一社長が力強く行った後、関係者が次々と玉ぐしを捧げた。

来賓挨拶では平田隆義名瀬市長が「19年度から



街路等
 県建築協会会始良伊佐支部（南明人支部長）は14日、牧園町と霧島町の街路及び幹線道路で清掃作業を実施し、地域住民に喜ばれた。
 午前8時30分、同町みやまコンセーラ駐車場に集会した参加者約70人を前に、南支部長は、これまで地区ごとに行ってきた

は金で眞を代表する觀
光型清掃することとな
った。助け合いや思いや
りの精神から続けてきた
奉仕活動だが、今後は建
築の養生かしたボラン
ティアも考えていきたい。
交遊の多い場所なので、



街路等で清掃奉仕

作業を」と挨拶。津田和
担当地区等を説明した後、

れてそれぞれの担当
易所へと多動、作

ます。時代の變化とともに設備設計に求められるニーズも多様化、高度化し、ますます重要性を増しております。一層、協会皆で協力し、技術の研さんを重ね業務の省力及び効率化できるような努力まい進して、若い技術者が希望を持てる協会にしたいと思えます。今

100人 地元中学生 将来の参考に

を掛けて、新規事業の開拓、業務の効率化・省力化に取り組み、若い技術者が希望を持てる業界を

見学会
来の参考に

新たな市場環境への対応と技術の研さん向上③公
員参加の協会活動④賛助
会活動の活性化一など

すゝ意識向上につなげて
も「おつと企画し、施工
者の協力を得て実現した
もの」。

石原徹、甌島土木出張所
長は「今日の『見学会』重



見学者を代表して里中
学校3年生の岸大地君が
「橋の作り方や橋の中の
構造など初めて知ること
ばかりでした。今日の体
験を思い出して、これと
ニムクリート屋

川崎社
母校に
大始良
教卓中

A black and white photograph showing three men standing behind a long, light-colored podium. The man on the left is wearing a dark t-shirt. The man in the center is wearing a light-colored short-sleeved shirt and a dark tie. The man on the right is wearing a light-colored short-sleeved shirt. They are all looking towards the camera. In the background, there are large windows and a sign that reads "THE NEW YORK TIMES".

7月に降仕事
合間に製作を
け新学期に間
合せた。この
卓は、113
の全7クラス
生徒会、家庭
室で使われて
る。

次鼻土木部建築技監兼任宅課長、角田正雄鹿児島市建設局建築部長、柴立鉄彦県議、増留貴朗県議、赤崎正剛鹿児島市議が祝辞を寄せた。

このあと、赤坂裕鹿児島大学工学部教授が「ヨーロッパの都市と歴史と街並み」と題し講演を行った。

「目指そう」と挨拶。続いて、若山惇副会長を議長に選出し、議事に入り九州ブロック会宮崎大会出席などが報告されたほか、18年度日本設備設計事務所協会九州ブロック会鹿児島大会開催計画、18年度事業計画案等を審議可決承認した。

新年度事業計画は、①

施工現場を興味深く見
児童ら〓薩摩川内市の現

このあと、瀧畑安博現場代理人らの案内で高さ約30mの上部工現場へ移動し、120tクレーンで物を吊り上げる様子や空洞になった上部工内部を見学。施工者のはからい

また上甕中学校3年生の宮下亮平君が「橋の見学や説明を受けることができて、私達の将来のことに



参考になりました。これからお仕事頑張ってください」と感想を述べた。

鍛崎2号橋は、PC2

教卓を贈った川崎社(2人目)とPTA関屋市の大始良中学校で

径間1.7m、幅員8m、延長111m、幅員8m、18年度供用開始予定。

魚の放流実習

放流樂しむ

伊敷小学校（福留潤一校長）の児童76人が参加し、児童らは日頃目にする機会の少ないうなぎの放流

らうため、小学校最後
 思い出に6年生を対象
 実施。
 同日は、午前10時に

見学者を代表して里中学校3年生の岸大地君が「橋の作り方や橋の中のもの構造など初めて知ることばかりでした。今日の体験を思い出に残して僕たち3年生はこれからの進路の参考にしようと思います。」

鹿屋市下堀町の川崎一人(有川崎建設社長は、母校である大始良中学校(同市田淵町)に手造りの教卓9台をこのほど寄贈した。

現在使用している教卓が老朽化し同校のPTA

(立神利實会長・(株)立神植物園社長) から依頼さ

卓は、1・13
の全7クラス
生徒会、家庭
室で使われて
る。

瀨田正義校
は「感謝しています。
事に使いたい」と話した。

内部を見学。施工者のはからいで上部工内部のコンクリート壁に記念のサインや絵を描かせてもらった。

川崎社長(川崎建設
母校にボランティア
大始良中
教卓を寄)

高さ90cmで裏に棚を2段設けた。川崎社長は7月以降仕事を合間に製作を続け、新学期に間に合わせた。この

このあと、濱
畑安博現場代理
人らの案内で高
さ約30mの上部
工現場へ移動し
120tクレー
ンで物を吊り上
げる様子。周囲

また上甌中学校3年生の宮下亮平君が「橋の見学や説明を受けることができ、私達の将来のことに

参考になりました。これからお仕事頑張ってください」と感想を述べた。

鍛崎2号橋は、PC22

教卓を贈った川崎社
ら2人目」とPTTA関

徑間トラーメン箱桁橋
延長1111m、幅員83m
18年度供用開始予定。